

**「アスリートイメージ評価調査」バンクーバー冬季五輪特別編を実施
～「感動した日本人」アスリートは浅田真央、「感動した海外」アスリートはキム・ヨナ
「面白さを発見した」競技はカーリング～**

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(本社:東京都港区 社長:佐藤孝 以下博報堂DYメディアパートナーズ)は、株式会社博報堂DYスポーツマーケティング(本社:東京都港区 社長:萩原徳正 以下博報堂DYスポーツマーケティング)、データスタジアム株式会社(本社:東京都世田谷区 社長:加藤善彦 以下データスタジアム)と共同で、調査対象アスリートに加え、五輪出場アスリートの総合的なイメージを測定する「アスリートイメージ評価調査」バンクーバー冬季五輪特別編を行いました。

イメージ総合ランキング上位は、1位にイチロー(野球)、2位に浅田真央(フィギュアスケート)、3位に石川遼(ゴルフ)、4位にキム・ヨナ(フィギュアスケート)、5位に高橋大輔(フィギュアスケート)となっており、バンクーバー冬季五輪で活躍したアスリートも上位にランクインされています。(敬称略、以下同)

イメージ項目の「勢いを感じる」アスリートは、1位に石川遼(ゴルフ)、2位にキム・ヨナ(フィギュアスケート)、3位にイチロー(野球)、浅田真央(フィギュアスケート)、5位に高橋大輔(フィギュアスケート)となっており、今年活躍を期待されているアスリートとバンクーバー冬季五輪で活躍したアスリートが上位を占めています。

「純粹」なアスリートは、1位に浅田真央(フィギュアスケート)、2位に高木美帆(スピードスケート)、3位に菊池雄星(野球)、4位に石川遼(ゴルフ)、5位に鈴木明子(フィギュアスケート)となっており、バンクーバー冬季五輪での地道な努力が評価されたアスリートが上位を占めています。

そして今回は、バンクーバー冬季五輪大会出場アスリートの調査も行いました。「バンクーバー冬季五輪大会で感動した日本人アスリート」のランキング 1位に浅田真央(フィギュアスケート)、2位に高橋大輔(フィギュアスケート)、3位に上村愛子(スキー<モーグル>)、4位に鈴木明子(フィギュアスケート)、5位に目黒萌絵(カーリング)となっており、メダル獲得アスリートだけではなく、大会期間中、メディア露出が多く、かつ感動を与えたアスリートが上位を占めています。

「バンクーバー冬季五輪大会で感動した海外アスリート」のランキング 1位にキム・ヨナ(フィギュアスケート)、2位にジョアニー・ロシェット(フィギュアスケート)、3位にショーン・ホワイト(スノーボード<ハーフパイプ>)、4位に長洲未来(フィギュアスケート)、5位にエフゲニー・プルシェンコ(フィギュアスケート)となっており、フィギュアスケートで活躍した選手が人々の感動を喚起した結果となりました。

そして、「CM に出演して欲しい日本人アスリート」は、1 位に浅田真央(フィギュアスケート)、2 位に上村愛子(スキー<モーグル>)、3 位に高橋大輔(フィギュアスケート)、4 位に本橋麻里(カーリング)、5 位に國母和宏(スノーボード<ハーフパイプ>)となっています。また、「CM に出演して欲しい海外アスリート」は、1 位にキム・ヨナ(フィギュアスケート)、2 位にショーン・ホワイト(スノーボード<ハーフパイプ>)、3 位に長洲未来(フィギュアスケート)、4 位にエフゲニー・プルシェンコ(フィギュアスケート)、5 位に川口悠子(フィギュアスケート)となっています。

さらに、「バンクーバー冬季五輪大会で面白さを発見した」競技は、1 位にカーリング、2 位にフィギュアスケート: シングル、3 位にスノーボード: ハーフパイプ、4 位にスキー: フリースタイル(モーグル)、5 位にスノーボード: スノーボードクロスとなっており、日本人選手が活躍した競技だけでなく、これまでTV放映などがあまりなかった新しい競技に対しても今後注目が集まりそうです。

この調査はCMキャスティングの際に使用する基礎データとしての活用を主な目的とし、対象アスリートの認知、好意度のほか、博報堂DYメディアパートナーズが独自に構築した 29 項目のイメージ評価によるオリジナル調査で、今回はバンクーバー冬季五輪特別編としてオリンピックに関する質問を加えて実施しました。

博報堂DYメディアパートナーズでは、今後も定期的に「アスリートイメージ評価調査」を実施し、アスリートのイメージ評価がどのように変化していくのか分析を行ってまいります。

■主な調査結果

1)イメージ総合ランキング上位は、「イチロー」「浅田真央」「石川遼」

- 1 位: イチロー(野球)
- 2 位: 浅田 真央(フィギュアスケート)
- 3 位: 石川 遼(ゴルフ)
- 4 位: キム・ヨナ(フィギュアスケート)
- 5 位: 高橋 大輔(フィギュアスケート)
- 6 位: 上村 愛子(スキー<モーグル>)
- 7 位: 宮里 藍(ゴルフ)
- 8 位: 工藤 公康(野球)
- 9 位: 安藤 美姫(フィギュアスケート)
- 10 位: 長谷川 穂積(ボクシング)

2)“勢いを感じる”アスリートは、「石川遼」「キム・ヨナ」「イチロー」「浅田真央」

- 1 位: 石川 遼(ゴルフ)
- 2 位: キム・ヨナ(フィギュアスケート)
- 3 位: イチロー(野球)
- 3 位: 浅田 真央(フィギュアスケート)
- 5 位: 高橋 大輔(フィギュアスケート)

- 6位: 菊池 雄星(野球)
- 7位: 宮里 藍(ゴルフ)
- 8位: 小塚 崇彦(フィギュアスケート)
- 9位: 長谷川 穂積(ボクシング)
- 10位: 坂本 勇人(野球)

3) “**純粹**”なアスリートは、「**浅田真央**」「**高木美帆**」「**菊池雄星**」

- 1位: 浅田 真央(フィギュアスケート)
- 2位: 高木 美帆(スピードスケート)
- 3位: 菊池 雄星(野球)
- 4位: 石川 遼(ゴルフ)
- 5位: 鈴木 明子(フィギュアスケート)

4) “**バンクーバー冬季五輪で感動した日本人アスリート**”は、「**浅田真央**」「**高橋大輔**」「**上村愛子**」

- 1位: 浅田 真央(フィギュアスケート)
- 2位: 高橋 大輔(フィギュアスケート)
- 3位: 上村 愛子(スキー<モーグル>)
- 4位: 鈴木 明子(フィギュアスケート)
- 5位: 目黒 萌絵(カーリング)

5) “**バンクーバー冬季五輪で感動した海外アスリート**”は、「**キム・ヨナ**」「**ジョアニー・ロシェット**」「**ショーン・ホワイト**」

- 1位: キム・ヨナ(フィギュアスケート)
- 2位: ジョアニー・ロシェット(フィギュアスケート)
- 3位: ショーン・ホワイト(スノーボード<ハーフパイプ>)
- 4位: 長洲 未来(フィギュアスケート)
- 5位: エフゲニー・プルシェンコ(フィギュアスケート)

6) “**CM出演してほしい日本人アスリート**”は、「**浅田真央**」「**上村愛子**」「**高橋大輔**」

- 1位: 浅田 真央(フィギュアスケート)
- 2位: 上村 愛子(スキー<モーグル>)
- 3位: 高橋 大輔(フィギュアスケート)
- 4位: 本橋 麻里(カーリング)
- 5位: 國母 和宏(スノーボード<ハーフパイプ>)

7) “**CM出演してほしい海外アスリート**”は、「**キム・ヨナ**」「**ショーン・ホワイト**」「**長洲未来**」

- 1位: キム・ヨナ(フィギュアスケート)
- 2位: ショーン・ホワイト(スノーボード<ハーフパイプ>)
- 3位: 長洲 未来(フィギュアスケート)

4位： エフゲニー・プルシェンコ(フィギュアスケート)

5位： 川口 悠子(フィギュアスケート)

8) “バンクーバー冬季五輪で面白さを発見した”競技は、「カーリング」「フィギュアスケート:シングル」「スノーボード:ハーフパイプ」

1位： カーリング

2位： フィギュアスケート:シングル

3位： スノーボード:ハーフパイプ

4位： スキー:フリースタイル(モーグル)

5位： スノーボード:スノーボードクロス

■調査概要

・調査方法： Web 調査

・調査地区： 首都圏+京阪神圏

(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県)

・調査対象者： 対象エリアに在住の15～69歳の男女

・有効回収サンプル数： 600サンプル

・調査期間： 2010年2月27日～3月3日

■この件に関するお問い合わせ先

博報堂DYメディアパートナーズ

広報グループ 舟橋・加藤 03-6441-9347

スポーツ事業局 武藤 03-6441-9622

メディア・コンテンツソリューション局 大足 03-6441-9772